

# 第4回山口県緩和ケアチーム研修会報告書

山口大学医学部附属病院  
緩和ケアセンター事務局

## 開催概要

開催日時：令和4年12月23日(金)18:00~19:30

主催：山口大学医学部附属病院緩和ケアセンター

後援：山口県健康福祉部医療政策課

開催形式：Web会議システムによるオンライン開催

参加施設：国立病院機構岩国医療センター

山口県厚生農業協同組合連合会周東総合病院

地域医療機能推進機構徳山中央病院

山口県立総合医療センター

国立病院機構山口宇部医療センター

山口県済生会下関総合病院

医誠会都志見病院

山口県厚生農業協同組合連合会長門総合病院

山口大学医学部附属病院

受講者数：43名(医師6名、心理師2名、看護師21名、保健師1名、薬剤師4名、  
管理栄養士5名、MSWI名、リハビリテーション職員1名、事務職員2名)

## プログラム

18:00~19:30 特別講演

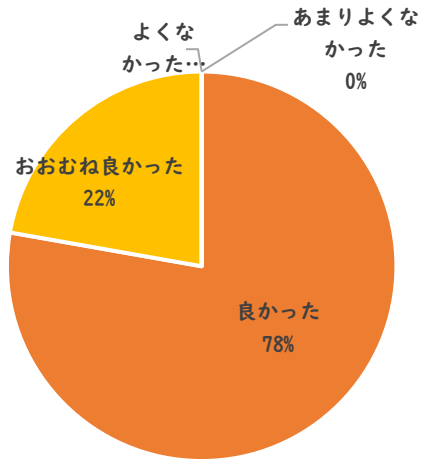
「高齢がん患者の意思決定支援について」

山口大学医学部附属病院 精神科神経科 准教授 松原 敏郎 先生

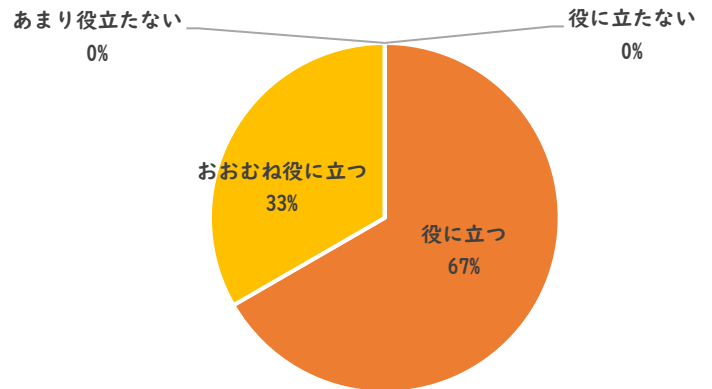
閉会挨拶 山口大学医学部附属病院 緩和ケアセンター 助教 山縣 裕史

# アンケート

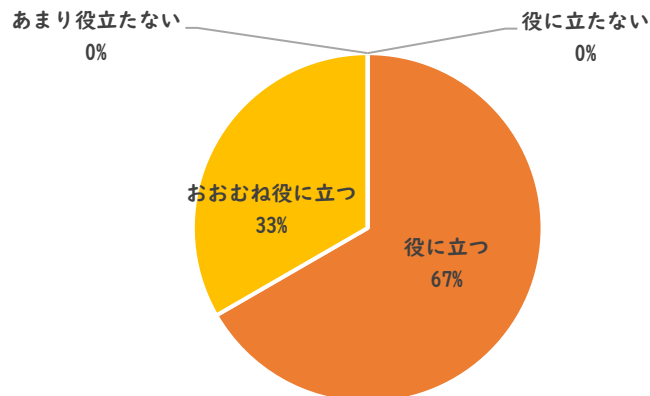
この研修会に参加してよかったですか？



この研修会で得たことは今後の緩和ケアチーム・緩和ケア病棟での活動に役立ちますか？



この研修会で得たことは今後の緩和ケアチーム・緩和ケア病棟での活動に役立ちますか？



緩和ケアチーム研修会で取り上げてほしいテーマや内容についてお聞かせください。

- ・緩和ケア病棟がある病院の ACP の現状
- ・山口大学医学部附属病院における緩和ケアチーム活動について（紹介や他職種が関わるタイミング、緩和ケア CN 以外の CN 介入事例などあれば知りたい）
- ・遺族ケアについて
- ・精神的な苦痛から食欲不振を生じた患者さんのケアについて
- ・がん患者さんの食欲低下への介入について
- ・グリーフケアについて

・スピリチュアル・コミュニケーションについて

・がんゲノム医療について

(昨年もがんゲノム医療について聞きたいとの他の方からの声があったと思うので、今年改めて希望します。できればがんゲノム医療連携病院である山口大学医学部附属病院遺伝診療部の先生から話を聞きたいです。今後のがんゲノム医療におけるがん患者と家族の治療のプロセスに応じた看護ケア、意思決定支援について県内の緩和ケアチームの方々と考えられたらいいと思います。)

・がん患者さんの自殺対策、フローについて

### 緩和ケアチーム研修会のご感想や、ご要望についてお聞かせください。

・当院では、高齢患者さんの場合、ご家族だけが病状説明を受けたり、治療・療着失の決定をしたりするケースも多くあるので、ご本人の意思を尊重できるように院内・地域のスタッフと協力し、ご家族だけではなくご本人が主体となる支援を行って行きたいと思いました。

・何気なく使用している医療用語等も患者さんにとっては初めて聞くもので、患者さんが分りやすく、納得や今後の選択がしやすいように配慮したいと思いました。

・ヘルスリテラシーの低い患者さんには、ゆっくり時間をかけて、わかりやすい言葉・絵を使い説明する。質問して恥ずかしくない環境を作るなど、具体的に学ぶことができました。患者さん・ご家族に合わせた方法で、意向をさぐり続けながら、意思決定支援ができるように努めたいです。

・伝え方で患者さん、ご家族も捉え方が変わるという事、考えさせられるものがありました。何が患者さんにとってよいのか、考えながら接していけたらと思いました。

・患者さんやご家族が決めることができないもどかしさを感じることがありますが、こちらの伝え方や決められない要因を理解したりと自分自身の支援の仕方を見直すきっかけとなる研修でした。ありがとうございます。

・緩和ケアチームに所属していない医師や看護師の参加はできないのでしょうか。

・行動経済学の考え方を知り、お話を聴けて勉強になりました。

・大変勉強になりました。もう一度聞きたいです。普段の臨床に活用できたらと思います。

・今まで高齢がん患者さんの意思決定支援について講義をいくつか聞いたことがあるが、今回は切り口が新しく非常に興味深い内容でよかったです。